
「Deep-phenotyping 解析による新たな甲状腺中毒症の重症化バイオマーカーの探索研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、**埼玉医科大学総合医療センター 研究倫理委員会**の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2018 年 4 月 1 日～2022 年 11 月 25 日に埼玉医科大学総合医療センターに甲状腺中毒症で通院・入院された患者さんを対象にしています。

2. 研究の目的

上記の期間に当院にて甲状腺中毒症と診断された患者さんを対象とし、各種臨床症状などのデータをコード化し、多変量解析・主成分分析・機械学習等を用いて疾病重症度予測モデルを見いだす研究を行います。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027 年 4 月 30 日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

病歴、治療歴、検査データ、薬剤情報、画像データ。

2. 試料・情報の取得方法

甲状腺中毒症と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた残余検体、検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター	内分泌糖尿病内科	足立 淳一郎（研究代表者）
埼玉医科大学総合医療センター	内分泌糖尿病内科	泉田 欣彦
埼玉医科大学総合医療センター	中央検査部	竹下 享典

埼玉医科大学総合医療センター	内分泌糖尿病内科	大村 卓士
埼玉医科大学総合医療センター	内分泌糖尿病内科	山崎 悠里子
埼玉医科大学総合医療センター	内分泌糖尿病内科	村岡 和
埼玉医科大学総合医療センター	内分泌糖尿病内科	宮下 将
埼玉医科大学総合医療センター	内分泌糖尿病内科	奥野 雄貴

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 内分泌糖尿病内科 足立 淳一郎

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3570（土日祝日を除く 9：00～17：00）

○研究課題名：Deep-phenotyping 解析による新たな甲状腺中毒症の重症化バイオマーカーの探索研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 内分泌糖尿病内科 足立 淳一郎